

社会文化システム研究科

教育プログラムの名称：社会システム専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院社会文化システム研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム(社会システム専攻・修士課程)では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 専門基礎能力：今日の地域社会や国際社会に関して、専門的な研究を展開するために必要となる幅広く深い知識と考え方を、正確かつ体系的に理解し身に付けている。
2. 研究遂行能力：社会科学の専門領域における今日的課題に対し、自らの問題意識に基づいて、独力で研究を遂行できる能力がある。
3. 専門応用能力：地域社会を複合的なシステムとして把握しつつ、地域社会や国際社会の抱える多様な諸課題を解決できるよう、専門的な知識を活用・応用していく能力がある。
4. 社会への発信と貢献：社会科学領域において、他者と積極的に意見を交換することを通じ、自らの研究成果を社会一般に発信する能力を獲得し、現代の知識基盤社会を多様に支える職業人としての資質を備えている。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院社会文化システム研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、社会文化システム専攻(修士課程)の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 学位の取得に向け、指導教員の指導の下、広い文献研究や実習等を通じて、学生が自らの問題意識に即して研究課題を確定し、修士論文を作成することができるよう、多面的な能力を積極的に啓発する科目(特別研究)を配置する。
2. 高度な専門職従事者・地域リーダーが有すべき知識と技能の体得が可能となるよう、各学問分野の最先端の研究成果に基づく講義科目(特論)と演習科目(特演)を選択必修科目(専攻科目)として配置する。
3. 研究を進め、その成果を社会に発信する上で専門分野にかかわらず共通に必要なとされる基盤的な知識・技能を提供する科目として共通科目を配置する。

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

社会システム専攻では、自治体と企業及び国際社会という3つの社会システムに焦点を当て、政策諸課題を研究することを目的としています。

また、社会システム専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・法学、政治学、経済学、経営学、社会学、地理学など、社会科学の専門分野に関する基礎学力を有している人
- ・今日の多様な社会現象に対して、旺盛な探究心を持つ人
- ・自分が身につけた専門的知識を、地域社会や国際社会の抱える諸課題の解決に役立てたいと考えている人